

Weekly Report

2019～2020年度



令和元年9月17日(火)
第1973回例会

- ◆ 会長/中島 健児
- ◆ 幹事/金子 拓哉
- ◆ 会報/中村 和広



作者の言葉
我が百合丘ロータリークラブの例会は、地味に色あせている。しかし、この多岐にわたる活動は、即ちその花の根を深め、その花の葉を茂らせます。そして、その花の香りを、清らかな乙女を感じ、咲かすまであります。令和元年九月十七日 大友 大五郎

例会日 毎週火曜日 12:30～13:30
例会会場 ホテルモリノ7F TEL 044-966-1300

川崎百合丘ロータリークラブ ホームページ
<http://www.kawasaki-yurigaoka-rc.jp/>

第1973回例会記録 令和元年9月17日(火) 11/47回

<点鐘> 中島健児会長

<ソング> 我等の生業

<会長報告> 中島健児会長

1. 2019-20年度地区大会 新会員紹介(大会展示・本会議登壇)の案内
対象会員:2018/11/1より2019/9/30までにRIへの入会手続きを済ませた新会員
2. 地区ロータリー財団セミナー開催の案内
10/10(木)15:00～17:00 HOTEL PLUMN (ホテルプラム)
対象委員会委員長さんに出席して頂く予定です。
3. 2019-20年度米山学友会総会の案内
10/6(日)11:00～15:00 ホテルキャメロットジャパン
4. 第69回“社会を明るくする運動”麻生区推進委員会における「あさお区民まつり」での啓発活動の実施について
10/13(日)9:30集合 場所:麻生区役所周辺
5. 新百合ヶ丘エリアマネジメントコンソーシアムより「新百合ヶ丘駅南口クリーンアップ大作戦」参加者募集の件
10/5(土)9:30～11:00頃終了予定
集合場所:新百合ヶ丘駅南口広場1F交番前
6. 次年度に向けた指名委員会動き始めています。
井上久委員長よりお願いします。

<幹事報告> 金子幹事

- *当クラブ例会
9/24(火) 清掃活動:16:00～ 移動例会(夜会)
シノワーズ17:30点鐘
・昼の例会はありません。

- *10/22(火)→地区大会へ振替え
- *地区大会10/26(土) パシフィコ横浜
- *10/29(火)移動例会(夜会)

<ニコニコ委員会> 福家委員

中島健児会長→「山崎会員、安藤美恵子会員、本日のプログラム宜しくお願い致します」。金子幹事→「本日のプログラム、山崎青少年奉仕委員長、安藤米山奨学委員長、よろしくお願い致します」。以下、感謝をこめてニコニコへ。安藤美恵子会員、安藤亨会員、井上久会員、石野会員、菊池会員、小島会員、小塚会員、宮崎会員、中島眞一会員、中村会員、野島会員、尾崎会員、佐々岡会員、鈴木文夫会員、鈴木清会員、高山会員、玉井会員、山口卓会員、山崎会員、屋敷会員、結城会員、福家会員。

<出席委員会> 結城委員長

	会員	出席	欠席	メーク	出席率
第1973回	49	34	15		69.39%
第1972回	49	39	10	1	81.63%

- 第1975回 10月1日 招聘卓話 米山奨学生
- 第1976回 10月8日 委員会報告 職業、社会、国際奉仕各委員長
- 第1977回 10月15日 クラブフォーラム

※諸事情により、スケジュールは変更になる場合があります。

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	24件	24,000円	360件	419,514円
財団	0件	0円	10件	152,400円
ベネファクター	0件	0円	1件	110,000円
米山	2件	20,000円	13件	190,000円

<米山奨学委員会>

屋敷委員

山口篤会員→「65才になりました。これからもよろしく願います」。井上勇会員からも頂きました。

本日のプログラム

<委員会報告>

青少年奉仕委員会

山崎委員長

クラブ青少年奉仕委員長会議が8月5日16時30分から18時30分まで神奈川県民センターホールでありました。



1. 青少年奉仕活動としては、インターアクト、ローターアクト、青少年交換、ライラ、4つが協力して地区を盛り上げていくということです。
2. 危機管理につきましては、“学生を守る”ということを第一に考え、危機管理ハンドブックを作成しました。事態が発生した場合は72時間以内に危機管理委員会に報告をするということを徹底します。
 - ①虐待・ハラスメントの申し立てすべて
 - ②青少年が関与する深刻な事態(事故、犯罪、早期帰国)報告を怠ると裁判になることもありえます。たとえばストーカー行為、学生にメールを何度もする、抱きつく、関係を持つ、相手が不愉快に感じる行為など全て。
3. インターアクトについて
海外研修は今年も台湾へ行きます。国際親善は学年を超えて交流を図り、頼もしい人間関係を形成し、インターアクト、ローターアクト、そしてロータリアンへと成長し、世界に羽ばたいていきます。
4. ローターアクトについては
ローターアクト会長を終えた方のスピーチで、「若い世代との交流は財産となりました。呼んで頂ければいつでも各クラブの例会へ」。またローターアクトの例会にも是非ご参加下さいとのことです。
5. ライラについては、新しい自分の発見、また違う仲

間と知り合えるチャンスがありますので、各クラブ一人のご参加をお願いしたいということでした。

6. ローター青少年交換については危機管理のこともあり一時停止となります。

米山奨学委員会

安藤美恵子委員長

先日米山記念奨学委員長会議に出席してまいりました。米山記念奨学事業とは、日本全国のロータリー会員の寄付金を財源として日本で学ぶ外国人留学生を支援し、日本と世界の架け橋となる人材を育成するものです。



米山奨学生は毎年7月に推薦指定校より公平・透明性をもって選考決定されており、ロータリーではこれまでの129ヶ国、約2万1千人を支援し、その奨学生達の多くは多方面で活躍しております。では、米山奨学金事業と他の奨学金との違いはと申しますと、奨学金の給付だけではなくロータリーの目指す「平和と国際理解を推進する人材を育成する」事業であるということ。そして米山奨学生達はロータリークラブの例会に出席し、ロータリアンとの交流を図り、ロータリー活動を理解して頂きます。まさに川崎百合丘ロータリークラブでお預かりしている張君はその1人で、昭和音大の推薦で今年で2年目となり、毎月例会に参加し奨学金を受け取っています。米山奨学金プログラムでは、学部課程として月額10万円、修士・博士課程は月額14万円で最長2年までとなっており、その後は学友となります。学友とは、元米山奨学生の同窓会組織みたいなもので、学友同士国内外で奉仕活動をしたり、ロータリーに入会して今度は自分たちが奨学金を支給するなどの働きをします。学友は世界に33組織あり、日本の他にアジアでは中国・台湾・韓国・タイ・ネパール・モンゴル・スリランカ・マレーシア・ミャンマーにもあります。本年度の2590地区の米山奨学生は42名で、うち中国が13名と年々多くなってきています。

米山記念奨学会への寄付金には税制上の優遇措置が受けられます。個人では所得税、法人なら法人税、相続税も非課税となります。

これからも米山記念奨学会へのご協力をよろしくお願いいたします。

<点鐘>

中島健児会長